



20年経って、あらためて思う。

本屋は、人生のかけらで
できている。

どんな気分ときでも 本屋さんの棚の間を歩いていると
いつのまにか本を手に取っていて、ちょっと顔を上げていて、
よし、もう少し生きていこう、と胸に勇気が湧いてくるのです。
楽しい本ばかりではないのに、不思議です。

目新しい小説も、目を背けたくなるようなノンフィクションも、写真集も、

参考書も、料理本も、コミックも、きっとすべてが人生のかけらです。

いろんな人生のかけらに触れて、私たちは

生きていく勇気を導くのだと思います。

宮下 奈都

2016年大賞「羊と鋼の森」

全国の書店員が選んだいちばん売りたい本 本屋大賞 20th 開催中!



手帳ブランド NOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。

NOLTY[®]
SINCE 1949